



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第12号
令和6年2月1日
文京区立本郷台中学校
校長 江熊 秀昭

「私が頑張るしか」

校長 江熊 秀昭

石川県輪島市の綾さん(16)が熱中するのは小4から始めたバレーボール。フィリピン出身のママは日本語が苦手。輪島市生まれのパパは無口、でも私には優しい。中2の弟は生意気だから、すぐけんかになる。友達とは恋話が多いが、好きな音楽はかぶらない。それは、音楽好きなパパの影響だ。

バレーの練習の送り迎えや家族での買い物。パパの車で流れる音楽は、西野カナやケツメイシなど一昔前にヒットした音楽ばかり。そんな曲を助手席で口ずさんでいた。

元日の夕方、友達とスーパーで買い物をしていると、二度の激しい揺れ。津波警報の着信！ママからの電話「怖い」と泣いていた。「津波が来るから逃げて！」パパと弟は電話に出ない。気づくと、海側にある家に走る。自分の部屋があった3階が地面についていた。ママの泣き声が聞こえ、助けなきや…近所の人が駆けつけ、助け出した。まだ、パパと弟、90歳のじいちゃんの中にいる。

パパのうなるような声、弟の「大丈夫」という声もする。警察も消防も電話はつながらない。午後7時頃くらいにパパの声が消えた。暗くなり、津波警報もあり、救助の手を止めざると得なかった。ママと輪島中学を目指した。110番では「順番に助けます」と言われ、夜は眠れなかった。

翌朝、市職員に助けられた弟が、1人で輪島中学まで歩いてきて「じいちゃんは入院。パパは意識不明」と言った。病院へ行くと、自宅から取り出した布団にくるまれたパパがいた。顔は真っ赤で、布団から少し出た足から血が流れていた。その姿を見た瞬間、涙が溢れた。病院の職員が「残念ながら…」と言った。

弟の話ではパパと二人でこたつにいた時に地震に遭遇し、倒れてきた家具から弟を守り、亡くなったようだ。

悲しい。でもこの日から心が安まることがなかった。葬儀、遺族年金、国民健康保険、生命保険、罹災証明…。日本語の分からないママの代わりに、手続きをすることになった。説明を受けたが、何から手をつければ…大事な者は瓦礫の中。親戚の助けで火葬は金沢市でできた。火葬の前、最後に見たパパの顔は病院で見たときよりきれいになっていた。こらえていたもの、そしてパパとの思い出が溢れてきた。

早朝に出勤し、夕飯はパパが作るが多かった。車中でのちょっと古い曲。試合には仕事を休んで応援に来てくれた。「もうパパを頼ることができないんだ」。涙を拭いながら、火葬される姿を見送り、実感した。高校は拠点を山梨県へ移したため、寮に入った。ママと弟は輪島に残る。

倒壊した家、離ればなれになるママと弟、不安なことはたくさんある。

でも、「私が頑張るしかないから」 そう自分に言い聞かせている。

令和6年1月22日(月) 朝日新聞夕刊より抜粋

高校1年生(16歳)が平時でも大変な諸手続をする。どんなにつらくても、悲しくても、日々の生活があり、前に進まなくてはならない。周囲の支えがあっても、自分自身が行動するしかない。

綾さんのようにつらい時にこそ「頑張るしかない」、そう思える人間でありたいものです。

2年生は「TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)」で体験型英語学習を行いました。照れもありましたが、会話などを楽しく学びました。



生徒の活躍

・硬式テニス部

区ダブルス大会

男子A 3位 男子B 1位

・薬物乱用防止標語コンクール

地区会長賞：2年

佳 作：2年3名



・区中学生俳句大会

入 選：2年1名

【2月行事予定】

1	木	都立高校推薦発表
5	月	全校朝礼 安全指導
7	水	校内研修
9	水	展示発表会準備
11	日	建国記念日
12	月	振替休日
13	火	展示発表会始
14	水	専門委員会
16	金	学習支援教室(国・保体)
17	土	土曜授業 新入生保護者説明会 展示発表会終
19	月	生徒会朝礼 展示発表会片付け 学習支援教室(数・美)
20	火	学習支援教室(英・音)
21	水	都立高校一次・前期学力調査 職員会議 学習支援教室(理・技家)
22	木	学習支援教室(社)
23	金	天皇誕生日
26	月	学年末考査(国・数・保体)
27	火	学年末考査(英・社・美)
28	水	学年末考査(理・技家・音)
29	木	1・2年領域診断テスト